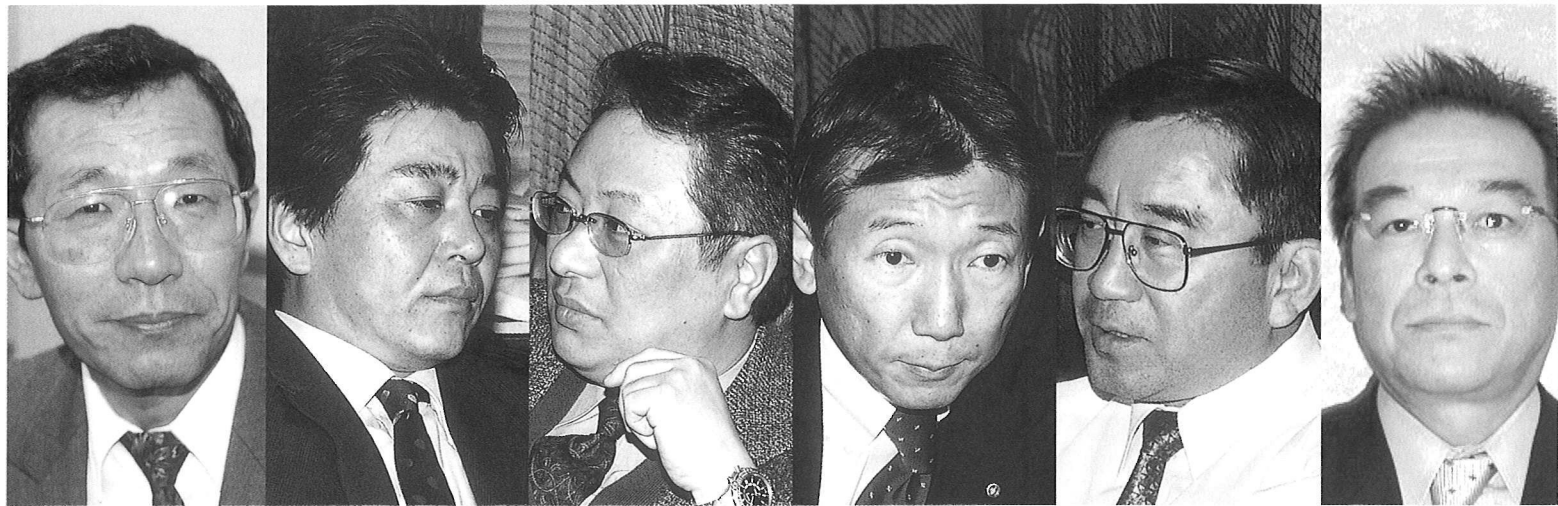




写真左より、森 陽一、重松正信、井槌浩雄、大塚 弘、梶原正成、泊 義雄

## 創立20周年記念座談会

# 30周年へのとびらを開けよう。

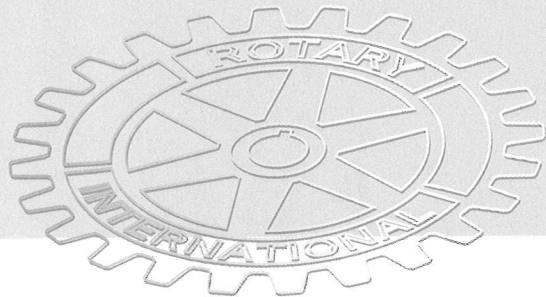
日 時 平成15年1月10日（金）午後6時30分  
場 所 ホテル・ニューオータニ博多「千羽鶴」  
出 席 者 梶原正成、大塚 弘、泊 義雄、森 陽一、井槌浩雄、重松正信  
会場設営 久保田通（記念誌部会チーフ）、植田正男（同副チーフ）

**久保田** 本日はご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。20周年記念誌委員会では、座談会を行うことでその内容を検討してきました。10周年記念誌は、クラブ発足時からを振り返った座談会となっています。そこで今回は、今後の福岡北RCはどうあるべきかを考えることにしました。即ち、10年後・20年後のクラブを担う若い会員を中心として座談会を行い、今後のクラブ活動の将来について大いに語っていただこうと思いました。30周年へのとびらを開けていただきましょう。司会・進行役は梶原さんをお願いします。

## ■入会のきっかけ

**梶原** 私が入会歴が最も古いことから、進行役を務めることとなりました。テーマが大きいので、まず身近なところからお聞きしたいと思います。福岡北RCへの入会は自分から積極的にアプローチして入ったのか、それとも他人から勧められて入ったのかからお聞きしましょう。（48才、1989年4月入会）

**重松** 私の仕事上の先輩の貞弘さんから勧められて入会しました。もっとも、ロータリーに興味はありましたが、違う業種の方々の意見を聞きたいと思っていましたので、進んで入



れていただいたように思っています。

(41才、2001年10月入会)

**井植** 私は、勝浦さんに勧められて入会しました。

ロータリーは企業のトップや一流の方が多数いらっしゃるので、自分でもよいのかなと思いつつ、恐れ入って入会したという感じでした。

(46才、2001年9月入会)

**森** 私の亡くなった先代社長が福岡北RCの会員でした。中西さんに誘われ、物事は勧められたときに入らないといけないというのが私の信条であり、入会しました(本日は発熱を押しての出席です)。(48才、1999年11月入会)

**泊** 知人より中西さんを紹介してもらって入会しました。(46才、1998年9月入会)

**梶原** 私は34才のある日、取引先の役員から呼ばれ、有無を言わず入会となりました。さらに入会15年後には、49才つまり40代でシニアになれると思って楽しみにしていましたが、昨年の規定審議会での定款規則の変更にともない、シニア制度がなくなって残念です(笑)。

**大塚** 私は、父の友人である篠崎さんの紹介です。父の代から保育園の検査をしていましたので、それで、このロータリーに誘いを受けました。(44才、1991年3月入会)

## ■入会してよかった？



**梶原** 皆さん、入会についての経緯は、濃淡はあっても会員からの勧誘がきっかけとなっているようですね。そこで次に、入会されて良かったでしょうか。

**大塚** 私は入会して会員名簿を見て、こんなところに入るんじゃないか、と思いました。それで、しばらくは例会に出席しなくなかったですね。金曜日になると憂鬱でした。

**重松** そうなんです。実は、僕も入会して1年ちょっとになりますが、いまだに緊張しています。とはいえ、例会出席は、結構気晴らしになっています。そこで、金曜日は人と会う仕事を入れないようにしています。

**井植** 私は高校生のとき、ロータリーの交換留学生としてオーストラリアに行き、現地のロータリーの例会に出席しました。当時のイメージから、私も入会当初は緊張して例会に出席していました。それから、私の歯科診療所は姪浜駅前にありますので、例会場までは20～30分で来られますので、例会への出席は苦痛ではありません。日頃は白衣を着ているのが、一週間に一度ネクタイを締め、おしゃれをして外出するのがよい気分転換になり、楽しんでいます。

**梶原** なるほど、ロータリーは気分転換をさせる、そういう効用もあるんですね。企業人の私と

しては、ネクタイをはずしたいと思っているのですが。

**森** 私は、入会して良かったと思います。これまでと違う人・世界に接することができ、知合いの輪が広がりました。また、地方に行くと会合に出てもロータリアンということで交流の輪を拡げることができました。

**泊** 私は、入会したものの半分近くは闘病生活を送っています。まだ緊張していますね。

**一同** 泊さん、元気になって本当、良かったですね。

**井槌** 「ロータリーは紳士の集まり」と聞いていました。入会して日が浅いためロータリー精神はまだ理解しているとは言えませんが、目立つ行動ということではなく、各人ができることから着実にやっていると思います。本当にいいクラブに入っていると思います。

**梶原** そんな難しい話でなくても、現実的メリットもありますよ。私は、バブル時にある名

門ゴルフクラブの入会審査の際、私がロータリアンであることを話したら、厳しいはずの入会審査が即 OK となりました。ロータリークラブは、地域社会での認知度が極めて高いことを改めて実感しました。

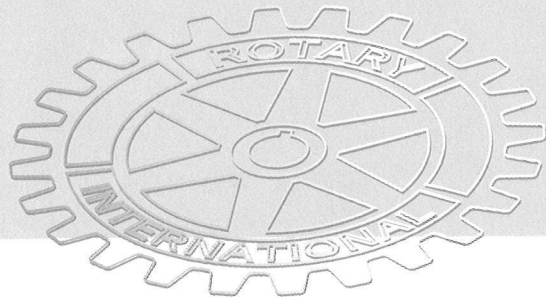
### ■ 出席義務

**梶原** ロータリアンの重要な義務として出席義務がありますが、どう思われますか。

**井槌** 入会の際、葉山さんからオリエンテーションを受けましたが、ホームクラブには、6割は出席していただきたいがそれができるかと言われました。同業の中西先輩や久保田先輩が100%出席を続けていると聞き、私も今期は100%を目指してがんばっています。

**泊** しかし私は、会員増強のため何人かの方に入会の勧誘をしましたが、毎週出席が入会の





ためのネックになっています。

**大塚** 確かに、出席義務が厳しいのはそのとおりですが、最近メーキャップが前後4週間でできるようになって、随分と楽になりましたね。海外旅行や急な事件がおきてもカバーできますね。

**井植** 亡くなった父もロータリアンでしたが、歳を取ってからは「例会出席できるのは、私の健康のバロメーターだ」と何よりも大切にしていました。メーキャップもすごく楽しんでいました。

**森** 100%出席は、久保田さんが幹事の時から5年も続いています。大変なんですよ。本音のところ誰か止めてくれませんか（笑）。

**泊** 確かに100%出席は厳しいと思いますが、これがはずれるとずるずると出席しなくなるのではないですか。

**大塚** わがままを抑えるのもロータリーの魅力だと思います（一同うなづく）。

## ■ロータリアンとしての活動について

**梶原** ロータリアンとしての、皆さんの今までの活動はどうですか。

**大塚** 私は、初めての委員長がライラ委員会でした。昔福岡北RCを創立した平野特別代表から、ロータリーでは頼まれたら断ってはいけないと言われたことをよく覚えています。そ

こで岩崎さんの後任としてライラ地区委員との話があったときも引き受け、結局6年間務めました。

**泊** ところで、ライラって何ですか。

**大塚** ライラの誕生は1959年、豪州クイーンズランド州の自治権獲得100周年記念祝賀会に英国のアレクサンドラ王女が女王名代として派遣された時、王女と同年代の青少年達を招いて王女と会う機会をつくろうという計画が持ち上がり、ブリスベーン・ロータリークラブがそのホスト役をつとめました。全豪から集まってきた青年リーダー達の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行うことに決め、第260地区（現在の963地区）でライラが誕生しました。私達の地区では、1980年に故新家パストガバナー（当クラブのチャーターメンバー）がガバナー時代にライラを提唱されました。それで、我がクラブでは創立以来、青少年奉仕活動として特にライラには力を入れて来ています。

**梶原** さすがに、ライラの地区委員を6年務めただけに、詳しいですね。

**井植** ライラというと実は、私がオーストラリアとの交換学生の時に現地でライラにも出ました。本場のライラだったんですね。

**梶原** ライラの活動はどのように生かさせているんですか。

**大塚** 例年4月に1泊2日で、18才から30才までの青少年を集めて、将来の指導者養成を行



っています。そのため企業の社員教育としても利用されています。また、お世話するロータリアンにとっても、寝食を共にするため、他のクラブの会員と友好を深めたり、情報交換などに役立てています。

**井植** 昨年2月、青少年奉仕委員会で福岡第14団ボーイスカウトの夜間ウォークラリー 60kmに挑戦しました。子供達は良く鍛えられていてすばらしい健脚ぞろいでした。今後も参加して、体力に挑戦し続けます。

**梶原** 本年度はゴルフ同好会以外にも同好会ができましたが、皆さんどこに所属していますか。

**井植** ゴルフ同好会です。旅行同好会と合同の玉名温泉一泊ゴルフコンペでは、相部屋の方をイビキで悩ませましたが、非常に楽しかったです。

**泊** マージャン同好会も昨年12月に第1回を開きました。私自身も10数年ぶりにパイを握りましたが、参加者は皆楽しまれていました。

**大塚** ゴルフ同好会に入っていますが、名前だけの会員となっています。復帰しないと、と思いながら時間がかかっています。

**森** 私は、あまりたたくと皆さんに申し訳なくて。それとチョコレートのやりとりには何となく抵抗があります。

### ■現在の福岡北 RC について

**梶原** 現在の福岡北 RC の雰囲気はどう思いますか。

**重松** 肩肘張らずに気楽に出席できます。ただ、女性会員がいないのが不思議に思います。

**梶原** 女性会員の問題は後で取り上げたいと思います。

**井植** 例会場のセントラルホテルに駐車場がなく不便な点もありますが、福岡北 RC の例会は、溶け込みやすく好いのではないのでしょうか。

**森** 多士済々の会員がいて良い雰囲気だと思います。テーブル会もよく開かれますが、会員の意外な面を知ることでもでき、毎回楽しみに出席しています。

**大塚** 今の雰囲気は大好きです。自分達の世代を集めて今回のような座談会をやるという現在のクラブの雰囲気は、自分達が頑張らなければという気持ちにさせてくれます。





**梶原** このところ新入会員が多数入られました。また、本年度は同好会もたくさんできて、クラブの雰囲気が随分変わったと思います。

**泊** 会員数としては今くらいが一番いいのではないかと思います。もっとも退会者が出るので、常に会員増強は必要だと思いますが、100名もいるようなクラブは考えられませんね。

**梶原** 委員会の配属・経費や収入などクラブ運営上は70人くらいいると楽といわれています。

## ■女性会員問題

**梶原** 女性の入会については、皆さんどう考えていますか。

**重松** 私は、どうしてこのことが問題となるのかが分かりません。仕事をする上でも周囲には多数の女性がいますし、RCに女性会員がない方がむしろ不思議な気がします。

**大塚** 6年前くらいに女性入会問題が起き、会員の意見が割れ、その後遺症がまだ残っています。女性の入会は、しばらくは難しいのでは。

**泊** 女性の入会者があると今の会の雰囲気が変わることになる。私自身は今のままで良いと思います。

**井植** 男だけの集まりがあっても良いのではと思っていますので、女性のロータリアンというのは、出来れば、ご遠慮願いたいですね。

**梶原** RIのこともあります、クラブは私達の

クラブですから、現状でやれるなら、今のままでもいいのではないですか。

**久保田** 本日は若い会員の集まりなので、女性入会の賛成論が多いと思っていたのに、意外や重松さんだけなんですね。

## ■今後の福岡北RC

**梶原** これから先、福岡北RCにはこうなって欲しい、こうすればさらに素晴らしいクラブになるんじゃないか、という点について皆さんの考えを聞かせて下さい。

**重松** 今の会の雰囲気はいいので、このまま続けていけたらと思います。

**森** 30年代・40年代の方に、クラブ入会をお誘いしても「業務多忙で」とか、「毎週の出席義務が難しいので迷惑をかける」とかで会員増強もなかなか難しいものですね。また、新会員や若年会員に対してはロータリアンとしての素養、例えば奉仕の理想についてとか疑問点に対して気軽にアドバイスを受けられるシステム作りが福岡北RCの発展及びロータリーの精神を継承するためにも必要なことと思います。

**井植** 昨年、高雄中興RCの周年行事に参加しましたが、中興RCとの関係は、行ったから来て貰う、来て貰ったから行くだけではどうかな、と思います。台湾の地震の時は救急車を送ったと聞いていますが、何か共同して社会奉仕

活動をするとか、一緒に何かをやって友好を深めることも考えていいんじゃないでしょうか。

**泊** その意味では、海外のクラブだけではなく、国内のクラブとの姉妹提携もあっていいんじゃないでしょうか。福岡城東RCは、壱岐RCと相互交流を行っているようですが、我がクラブも、例えば遠方の「北」クラブと姉妹提携してはどうでしょうか。

**井植** それと、今後会員の高齢化が進んでいくと思いますので、ウォーキング等は年齢に関係なく出来るスポーツですから、同好会でも作って親睦と健康増進を図ってみるなんてどうですか、ボーイスカウトの子供たちと一緒に歩くのも好い事と思います。

**森** それから、会員卓話がもっとあっていいと思います。せっかく立派な会員がおられるのにもったいないと思います。親近感もわいて、会員相互交流・親睦にもつながると思います。

**大塚** 私は今の福岡北クラブは親睦を深めることに力を入れている、これがクラブの活性化につながっていると思います。これからも続けて欲しいです。

**梶原** RCでは新しいプロジェクトを次々に立ち上げていますが、マンネリになっているものもあります。これを整理してもう少しシンブルにすることが必要ではないでしょうか。また、他のクラブと横並びということではなく、自分たちのクラブとして独自性を持つということを心がけることも必要です。RCは究極的には楽しくなければ続かないと思います。

議論はまだまだ続きそうですが、本日はこれで終わりにさせていただきたいと思います。  
長時間ありがとうございました。

